

くいやま

社協だより

令和6年(2024)年

第130号

8月

どっちの花が良いかな 花いっぱい運動

第48回全町一斉花いっぱい運動は、たくさんの方にご協力いただき、実施いたしました。
(関連記事P3)



社協
ホームページ



社協
Facebook

- 社協新会長のご挨拶
栗高、道共募会長感謝状受賞……………2
- 花いっぱい運動……………3
- 令和5年度事業報告、決算……………4、5
- 令和6年度事業計画、予算……………6
- ボランティア研修会……………7
- お知らせ等……………8

第48回

花いっぱい運動



5月26日、85の町内会・自治会や関係団体のご協力により、第48回「花いっぱい運動」を実施いたしました。公園や街路樹に25,100本の花が植えられました。また、ダリア1,500球が匿名で寄贈され、希望する地域や団体等にお配りしました。実施に先立ち、ボランティア連絡協議会(野原信子会長)加盟の月見草の会、更生保護女性会、赤十字奉仕団、手話の会、女性学級、リーディングサービスとらいあんぐる、傾聴ボランティア「虹」から「栗肥土袋詰め作業」に13名の参加協力をいただきました。



就任挨拶



栗山町社会福祉協議会
会長 桧崎 忠彦

町民の皆さまには、日頃より栗山町社会福祉協議会の事業に對しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

この度、令和6年3月に急逝された故初山清仁前会長の後任として、会長に就任しました。桧崎忠彦でございます。

これまで、初山前会長が地域福祉の向上と発展のために尽力されましたことに深く敬意を表し、その意思を尊重、継承できるように地域が抱える福祉課題に果敢に取り組んでまいります。

さて、栗山町においても少子高齢化は深刻化しており、在宅生活や介護予防等の地域支援が必要とされている一方で、社会福祉協議会には多様な福祉ニーズに対する柔軟な対応が求められています。

特に、コロナ禍を経て、急激に進んだデジタル化は私たちの生活や社会のあり様を大きく変

えつつあるように、福祉課題も時代の変遷とともにカタチを変えていきます。

私も社会福祉協議会は、誰もが自分らしく安心して過ごすことができるよう、まちなかカフェやふれあいサロンといった集いの場の展開、電話や訪問活動による近況の確認や相談窓口の設置など、ケアラーの方々の含めた地域の方を支える環境づくりに取り組んでまいりました。

ケアラー自身の身体的、精神的、経済的な負担をケアラーだけの問題とせず、何より手をつなげる先を多く持ち、出会う場をつくることが大切であると考えています。

また、一人ひとりの日常生活に彩りを加え、生きがいや楽しみを増やせるようデジタルツールを用いて相互の交流を図るなど、多様な試みも実施しています。

今後におきましても、地域福祉の中核として、行政や関係機関と協力しながら「第7次地域福祉実践計画」の基本理念であります「みんなで支え合い、やさしさはぐくむ、福祉のまちづくり」の実現に向け努力して参ります。

今後とも、町民皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

【理事】

任期 令和5年6月23日
令和6年度決算の定時評議員会

会長

桧崎 忠彦(新任)

副会長

橋場 謙吾(再任)

常務理事

月輪 淳紹(新任)

理事

永田 英隆(新任)

角田町内会連合会

村上 美佳(再任)

栗山町ボランティア連絡協議会

田村 賢治(新任)

栗山町社会教育委員会

三上 勝(新任)

特別養護老人ホームくりのさと

細山 寛(再任)

民間企業総理担当

田中 秀典(再任)

元社会福祉法人 施設長

栗山高等学校 北海道共同募金会より感謝状 — 赤い羽根共同募金運動の推進に尽力 —

栗山高等学校は、令和5年度の北海道共同募金会共同募金運動功績者として感謝状を受賞しました。

6月18日、栗山町共同募金委員会(八木橋義則会長)表彰伝達式が総合福祉センター「しゃるる」で行われ、感謝状と記念品が贈呈されました。

同校は、生徒会役員が中心となり、通学時に生徒玄関、放課後に町内のスーパー2店舗で募金活動を実施。多額の募金協力が評価されました。また、同感謝状を7年連続の受賞となります。



令和5年度社協決算

社会福祉事業 貸借対照表 令和6年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
流動資産		流動負債			
現金	100,000	事業未払金	3,089,669		
普通預金	3,626,065	職員預り金	56,633		
事業未収金	3,239,186	賞与引当金	784,854		
流動資産計	6,965,251	流動負債計	3,931,156		
基本財産	1,000,000	固定負債(退職給付引当金)	4,363,620		
車輦運搬具	493,213	負債の部合計	8,294,776		
器具及び備品	146,570	純資産の部			
ソフトウェア	121,000	勘定科目	金額		
退職給付引当資産	4,363,620	基金(地域福祉活動基金)	1,107,564		
応急生活資金貸付資産積立資産	499,000	国庫補助金等特別積立金	377,367		
福祉活動積立資産	34,673,623	福祉活動積立金	34,673,623		
地域福祉活動基金積立資産	1,107,564	基本財産積立金	1,000,000		
応急生活資金貸付金	501,000	充実計画資金積立金	18,528,693		
充実計画資金積立資産	18,528,693	応急生活資金貸付積立金	1,000,000		
車輦購入積立資産	409,080	車輦購入積立金	409,080		
その他の固定資産計	60,843,363	その他の積立金計	55,611,396		
		繰越金			
		次期繰越活動増減差額	3,417,511		
		うち前期繰越活動増減差額	2,725,946		
		うち当期活動増減差額	△5,274,824		
固定資産計	61,843,363	純資産の部合計	60,513,838		
資産の部合計	68,808,614	負債及び純資産の部合計	68,808,614		

公益事業 貸借対照表 令和6年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
流動資産		流動負債			
普通預金	332,100	事業未払金	820,295		
事業未収金	488,195				
流動資産計	820,295	流動負債計	820,295		
基本財産	0	固定負債	0		
		負債の部合計	820,295		
		純資産の部			
		勘定科目	金額		
その他の固定資産計	725,249	その他の積立金	500,000		
器具及び備品	225,249	繰越金			
その他の積立資産	500,000	次期繰越活動増減差額	225,249		
		うち前期繰越活動増減差額	271,173		
		うち当期活動増減差額	454,076		
固定資産計	0	純資産の部合計	725,249		
資産の部合計	1,545,544	負債及び純資産の部合計	1,545,544		

【令和5年度実績】
計画 4,190,000円
実績 3,168,128円
差引△1,021,872円
※実績内訳(右記事業)
① 400,000円
②1,918,128円
③ 850,000円

【令和5年度事業】
① 愛らぶ活動事業の充実
② まちなかカフェ事業の充実
③ ケアラー支援事業

社会福祉充実計画
10年計画
(平成29～令和8年度)

社会福祉事業 資金収支決算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	2,856,700
	分担金収入	90,000
	寄附金収入	1,030,729
	経常経費補助金収入	13,543,423
	受託金収入	25,899,743
	貸付事業収入	689,000
	その他の収入	173,576
	事業活動収入計(1)	44,283,171
	事業活動収入計(1)	44,283,171
支出	人件費支出	19,737,252
	事業費支出	22,172,827
	事務費支出	2,657,406
	貸付事業支出	710,000
	助成金支出	1,641,000
	事業活動支出計(2)	46,918,485
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,635,314
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	6,488,128
	その他の活動収入計(4)	6,488,128
	基金積立資産支出	166
	積立資産支出	834,399
	事業区分間繰入金支出	1,974,793
	その他の活動支出計(5)	2,809,358
	その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	3,678,770
	当期資金収支差額合計(7)=(3)+(6)	1,043,456
	前期末支払資金残高(8)	2,775,493
	当期末支払資金残高(9)=(7)+(8)	3,818,949

公益事業 資金収支決算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	経常経費補助金収入	423,000
	受託金収入	4,969,003
	事業収入	557,500
	その他の収入	18,890
	事業活動収入計(1)	5,968,393
	人件費支出	2,404,767
	事業費支出	5,038,419
	事業活動支出計(2)	7,443,186
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,474,793
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
その他の活動による収支	収入	
	事業区分間繰入金収入	1,974,793
	その他の活動収入計(7)	1,974,793
	支出	
	積立資産支出	500,000
	その他の活動支出計(8)	500,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,474,793
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0

令和5年度社協事業報告

地域福祉活動事業

- ・花いっぱい運動……………花苗22,900本植栽
80町内会・自治会・団体等
- ・愛らぶ活動事業……………5町内会、13自治会
除雪・見守り対象世帯 69世帯、支援者 62名
- ・ふれあいサロン事業
……………5町内会、1町内連合会、1連合町内会
参加対象 170名、運営者 30名
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)……………26件
- ・応急生活資金貸付件数……………25件
- ・生活福祉資金……………相談19件
- ・無縁仏、開拓先人供養会(トキト山、二岐、築別・円山、雨煙別)
中国人殉難者供養会実行委員会に対する援助
- ・遺族会、保護司会栗山分区支援

調査企画広報事業

- ・ふれあい広場くりやま……………200名来場
- ・社協だより発行……………3回(9、1、3月)

ボランティア活動事業

- ・夏休み体験ボランティア……………4つのメニュー
16名延べ25名
- ・ボランティア連絡協議会、月見草の会、手話の会
更生保護女性会、赤十字奉仕団、青年団体協議会
リーディングサービス「とらいあんぐる」、傾聴ボラ
ンティア「虹」活動支援
- ・学校ボランティア活動普及推進事業……………栗山高校
- ・ちょこっとお手伝い有償ボランティア……………91回
- ・ボランティア活動保険加入促進(17件 250名加入)

青少年福祉事業

- ・青少年育成会、初級・上級リーダー研修会等
- ・スポーツ少年団本部助成

心配ごと相談事業

- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設15回 相談件数42件
- ・民生委員児童委員協議会助成

まちなかカフェ事業

【サンタの笑顔】

- ・いきいき交流プラザ 月～土曜日の9時～17時
- ・利用者…小中学生40名、一般3,823名 合計3,863名
- ・脳の健康教室自主サークル……………22回、219名
- ・健康麻雀……………40回、158名
- ・タブレット交流……………4回、76名
- ・スマホ講座……………3回、50名
- ・老連 健康料理講座……………2回、24名
- ・ボランティア連絡協 料理研修……………1回、25名
- ・オレンジカフェ(10月～月1回)
町がガーデンハウスくりやまに委託……………6回、110名
- ・スマホ相談(町総務課DX 毎週3日程度)
- ・あんしん相談、パソコン利用

【かくた】

- ・角田改善センター 毎週金曜日の13時～15時
- ・利用者……………一般849名
- ・カフェボランティア登録者27名(4班体制)

ケアラー支援事業

- ・ケアラー支援専門員活動
○相談所対応……………25件
- 電話サービス……………1,737回
- 手紙、電話、訪問……………105世帯、延べ317回
- ・ケアラーサポーター養成講座……………42名参加

高齢者/障がい者福祉事業

- ・いのちのバトン配付事業……………15本配付(累計558本)
40町内会 14自治会 1連合町内会 1町内連合会
地域担当民生委員と連携、お手紙と電話で安否確認
- ・日常生活自立支援事業……………3件
(在宅の認知症や障害者の方等の金銭管理、書類確認支援等)
- ・車いす貸し出し事業……………56件
- ・歩行器貸し出し事業……………6台
- ・ベットの柵貸し出し事業……………7件
- ・入浴補助用具貸し出し事業……………14件
- ・ポータブルトイレ貸し出し事業……………10件
- ・福祉の杖交付……………34本
- ・老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、
手をつなぐ育成会、障害者自立支援連絡協議会
活動支援

在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ・配食サービス事業
○月～金曜日の昼食……………24名延べ2,823食
(水・金曜日は、44名の調理ボランティアの手作り)
- 月～金曜日の夕食……………28名延べ3,095食
- ・生活支援コーディネーター事業
角田地区：ワークセンター栗の木出張販売調整
継立地区：茶の遊イベント2回、15名
- ・除雪サービス事業……………玄関前211世帯
排雪、屋根の雪下ろし52世帯
- ・障害者移動支援事業……………延べ305回

【遊歩道の駅つぎたて】

- ・毎週月～土曜日
- ・利用者……………一般1,401名
- ・カフェボランティア登録者……………20名
- ・あんしん相談……………21回、78名
- ・IT講習会……………12回、138名
- ・健康麻雀……………95回、562名
- ・脳の健康教室自主サークル……………12回、125名
- ・すこやか健康イベント……………2回、33名
- ・茶の遊イベント……………2回、15名
- ・サマーフェスタ……………1回、100名
- ・保育園と交流イベント……………1回、21名
- ・地域食堂……………1回

- ・いきいき百歳体操……………40回
- ・保健師、警察、コミュニティFM講話……………7回
- ・タブレット体験講座……………2回
- ・ワークセンター栗の木出張パン販売

能登半島地震義援金のご報告

栗山町共同募金委員会

皆様からいただいた災害義援金を
北海道共同募金会に送金いたしました。

○送金額 405,565円

○募金箱設置場所

・社会福祉協議会窓口

・いきいき交流プラザ「サンタの笑顔」窓口

○募金箱設置期間

1月10日～6月末日まで

※いただいた義援金は、
北海道共同募金会を通じて、
被災県に送金し、
被災者支援に使われます。

○協力団体

- ・栗山町消費者協会
- ・栗山更生保護女性会
- ・栗山町月見草の会
- ・桜丘町内会
- ・まちなかカフェ「かくた」
- ・証継寺檀家一同
- ・願船寺檀家一同
- ・脳の健康教室自主サークル
(栗山・継立)
- ・栗山リーディングサービス
とらいあんぐる
- ・まちなかカフェ「かくた」
- ・栗山町仏教会
- ・日出連合町内会
- ・社協役職員一同
- ・栗山町共同募金委員会役員

以上敬称略

ご厚志ありがとうございます

令和6年2月10日以降令和6年7月10日までに
お寄せいただいた方

●金一封

鳥村武雄様(錦2)より
母の逝去に際して
泉真沙子様(角田)より
夫の逝去に際して
川田由幸様(継立)より
母の逝去に際して

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります

●物品

- ◆(有)北海道新聞大竹販売所
(大竹 利法代表取締役社長)様より
牛乳プリン696個を下記の社会福祉施設等へ
- ・特別養護老人ホームくりのさと、彩
- ・介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま
- ・養護老人ホーム泉徳苑、一草庵
- ・にじのこ児童クラブ
- ・マロンキッズ児童クラブ
- ・どんぐり児童クラブ
- ・かぜのこ児童クラブ



令和6年8月1日発行(第130号)

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ホームページURL

<http://www.kuriyama-shakyo.or.jp/index.html>

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、
赤い羽根共同募金
の助成を受けて、
作成しています



社協
ホームページ



社協
Facebook

5月下旬に実施した花いっぱい運動では、2万本を超える花苗が全町で植栽されました。町の様々な場所では花が咲いて、光景が豊かになりました。花苗を植える前には、植栽場所の草を取り、土を掘り起こし、準備の大切さが感じられました。今年は、ダリアの球根を千五百球寄贈いただき、希望される団体や個人に配付しております。ダリアはまだ花を咲かせていませんが、花が咲くのを待つ楽しみが一つ増えました。

編集後記